

第5回一関市総合教育会議

日 時 平成29年5月29日(月) 14時～15時30分
場 所 一関保健センター 2階 会議室3・4

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 懇 談

(1) 一関市の先人や歴史・文化の理解促進について

(2) 子どもたちの体力について

4 閉 会

一関市教育に関する大綱

【基本目標】

学びを広げ、人と地域が共に育ち、一関の未来を創る

【基本方針】

- 1 生涯にわたる学びを応援し、まちづくりを担い、活躍する人づくりを進める
(縦軸の人づくり)
- 2 学校・家庭・地域の連携を深め、心豊かにたくましく生きる人づくりを進める
(横軸の人づくり)
- 3 郷土の歴史と文化を誇りにし、未来を創造する人づくりを進める
(時間軸の人づくり)

第5回一関市総合教育会議 出席者名簿

| 職 | | 氏名 | 備考 |
|---------------|----------------------|--------|----|
| 【構成員】 | | | |
| 市長 | | 勝部 修 | |
| 教育委員会 | 委員長 | 鈴木 功 | |
| | 委員長職務代理者 | 千葉 和夫 | |
| | 委員長職務代理者 | 小野寺 眞澄 | |
| | 委員 | 佐藤 一伯 | |
| | 教育長 | 小菅 正晴 | |
| 【事務局等】 | | | |
| 市長公室 | 市長公室長 | 熊谷 雄紀 | |
| | 政策企画課長 | 佐藤 正幸 | |
| | 政策企画課主幹 | 佐藤 マチ子 | |
| | 政策企画課 政策企画係長 | 宍戸 勝幸 | |
| 保健福祉部 | 保健福祉部次長 兼子育て支援課長 | 千葉 敏紀 | |
| | 健康づくり課長 | 鈴木 久仁子 | |
| | 健康づくり課長補佐 兼健康推進係長 | 大内 純子 | |
| 教育部 | 教育部長 | 中川 文志 | |
| | 一関図書館長 | 千葉 秀一 | |
| | 教育部次長 兼学校教育課長 | 小山 祐二 | |
| | 教育総務課長 | 佐藤 鉄也 | |
| | 文化財課長 兼骨寺荘園室長 | 佐藤 武生 | |
| | 一関市博物館次長 | 千葉 浩 | |
| | 教育総務課長補佐 兼庶務係長 | 中田 善久 | |

地域の先人・歴史及び伝統・文化に関する学習等状況調査

資料1 参考(第4回総合教育会議資料)

| | 地域の先人 | 地域の歴史 | 地域の伝統・文化 |
|----------|--|--|--|
| 1 一関小学校 | ・4年生社会科の学習の中で、副読本「わたしたちの一関」に記載されている先人偉人についてふれた。 | ・6年生が総合的な学習の時間において骨寺村荘園遺跡について、インターネットを活用したり、交流館へ見学したりして学習した。 | ・3年生が総合的な学習の時間の中で地域探検を行った際に、一関小学区にある豊隆神社を見学し、その歴史等について学んだ。 |
| 2 山目小学校 | ・大槻三賢人について 6年児童が図書館で調べたり、博物館見学を行ったりして学習している。 ・建部清庵について 6年児童が図書館で調べたり、博物館見学を行ったりして学習している。 ・芦東山について 「東山かるた」を活用している。 | ・一関市の水害の歴史について、本で調べたりあいぼ一との出前授業を行ったりして学習している。 ・平泉の歴史や文化について、調べ学習をしたり、中尊寺、毛越寺、文化遺産センターを見学したりして学習している。 | ・3年生が東山町の紙すき館にて伝統的な和紙作りについて体験学習を行っている。 |
| 3 赤荻小学校 | ・6年生が市立博物館で見学し説明を聞いたりしながら学習している。また、平泉ウォークで藤原三代、世界遺産について学習している。 | ・6年総合において、中尊寺、毛越寺、その他の史跡をめぐるこの地方の歴史や文化について学習している。 ・5年総合においてこの地方に伝わるもち文化やもちの歴史など学習している。 | ・地域に伝わる文化の伝承活動として鶏舞に取り組んでいる。3年生から6年生まで上級生が下級生に教えながら鶏舞についての歴史などを学んでいる。また、地域の方々からご指導いただき、運動会、学習発表会、学習交流館祭りで披露している。 |
| 4 中里小学校 | ・6年生総合「わが町中里・一関」を学習。市博物館見学、調べ学習を行う。ちなみに今年度は大槻文彦の偉業を「遂げずばやまじ」という題で劇化し学習発表会で発表した。 | ・6年生総合「平泉学習」中尊寺、骨寺荘園遺跡の見学。調べ学習。 ・5年生は防災に係る中里の歴史についての学習。アイポートの見学。 ・4年生は照井堰について社会と総合で学習し、見学。個人課題を設定して調べ学習も行っている。 | ・中里鶏舞の継承 総合4年生3学期から活動している。 学校行事の運動会、感謝の会において発表している。また、地区民運動会においては希望を募り、有志が発表している。 |
| 5 滝沢小学校 | ・ことばの先人出前授業で大槻文彦について学ぶ予定(5, 6年生) ・一関博物館に校外学習に行き、展示している先人の偉業にふれる予定。(4年) | ・平泉出前授業において、世界遺産である平泉文化について学んだ。あわせて、校外学習で中尊寺を訪問し、実際に見学してくる予定(6年生) | ・地域に伝わる伝統文化である「牧澤神楽の鶏舞」の舞を地域の方に教わるとともに、運動会で発表している。また、4年生から6年生にかけて、この神楽の歴史などについての学習を段階的に進めている。 |
| 6 南小学校 | ・6年生の「平泉学習」では、ウォークラリー形式で史跡を巡りながら藤原三代の治政や歴史遺産について学んでいる。 | ・6年生が「鬼死骸村の歴史」を博物館の協力を得ながら進めている。 ・一関空襲や戦時中の暮らし等の歴史体験を外部講師を招いて学んでいる。 ・4年生が厳美の昔の堰の見学も行いながら照井堰について緑ネットの協力を得ながら学習している。 | ・4年生が東山町の紙すき館にて伝統的な和紙作りについて体験学習を行っている。 |
| 7 弥栄小学校 | ・7/13に5・6年生が市立博物館を見学し、先人について学んだ。 ・8/31に5・6年生が先人の出前授業を行い、相馬学芸員から大槻玄沢について学んだ。 ・昨年度は講師を招いて平泉学習を実施した。 | ・3・4年生が弥栄地区でなぜ養蚕が盛んになったのかJAの方を講師に招いて学習した。また、養蚕農家を実際に訪ね、養蚕の歴史について学んだ。 | ・鶏舞を地域の方から指導いただき、運動会で発表している。 ・いやさか太鼓を継承し、学習発表会等で発表している。 ・養蚕学習で学んだ繭を使って、繭細工や団扇を作成している。 |
| 8 萩荘小学校 | 萩荘地区のことについては特になし | 6年 戦争中の生活 萩荘地区のお寺で疎開を受け入れたことについて調べる | 鶏舞 地域の方の指導を受け、運動会で発表 |
| 9 厳美小学校 | | 厳美地域の探検を行い。地域の環境、産業、文化について知る。一関の歴史、文化について知る。平泉見学を行い。平泉の歴史と文化について知る。 | JAの協力で豆腐づくり体験を行う。水田をお借りして稲作体験を行う。 |
| 10 本寺小学校 | ・3年生が、社会科の時間に副読本「わたしたちの一関」で通覧的に学習している。今後市立博物館を見学し、学習を深める予定。 | ・5・6年生が総合的な学習の時間において骨寺村荘園遺跡について資料や交流館の方へのインタビューによって調べている。 | ・5・6年生が総合的な学習の時間において本寺中学校で継承している鶏舞についてインターネットや卒業生である父母に話を聞きながら調べている。 |
| 11 舞川小学校 | ・大槻三賢人について、5・6年生が「先人の出前授業」を受講して、功績や苦労などを学んだ。 | ・毎年5学年で市立博物館に見学に行き、舞川地区の舞草刀や大槻家の業績について学習している。 | ・鶏舞と鹿子躍りを地域の方々に指導いただき、運動会、地区敬老会、地域の福祉施設、市民センターの福祉祭り等で、発表している。 |
| 12 永井小学校 | ・関ノ戸億衛門について 3年生が総合的な学習の時間に石碑などから、その功績を調べている。 3年生がことばの時間に「花泉かるた」を通して功績を学んでいる。 | ・嘉永の松について 校歌や校章を手掛かりにしながら調べる活動をしている。 ・鹿沼の干拓について 4年生が社会科の「昔から今へと続くまちづくり」の学習で鹿沼の干拓について学んでいる。 | ・鶏舞 保存会を中心とした地域の方に指導していただき、運動会や地域の行事(敬老会、市民センターまつりなど)で披露している。 |
| 13 涌津小学校 | ・総合の学習で4年生が、大槻文彦の功績について学習している。 | ・照井堰の歴史について4年生が学習している。 | ・鶏舞の歴史を4年生が地域の指導者から学び、5・6年生が実際に鶏舞を教えていただき運動会で発表している。 |
| 14 油島小学校 | ・3年生(社会)千葉胤秀の生家を訪ね、胤秀の業績について話を聞く。 ・昔の家を見学する。 | | |
| 15 花泉小学校 | ・大槻三賢人について 6年生が図書館やインターネットで調べたり、博物館見学を行っている。 | ・「ハナイズミモリウシ」について、3年生が総合的な学習で講師から話を聞く等しながら、学習している。 ・「平泉」について、6年生が出前授業や見学を行っている。 ・6年生が「満昌寺・貝鳥貝塚」に行き、地域の歴史を学んでいる。 | ・地域に伝わる「鶏舞」の伝承活動に取り組んでいる。3年生以上が保存会の方の指導を受け、運動会や敬老会等で発表している。 |
| 16 老松小学校 | ・和算家、千葉胤秀について ・医学者、千葉理安について ・義民、千葉惣左衛門について | ・左記、先人に関する歴史 ・日形の水害 | ・伝統芸能として、保存会のかたからご指導を受け、「大黒舞」に取り組んでいる。(4年生以上全員) |
| 17 金沢小学校 | | ・大名行列の始まりなどについて、調べたり、地域の神社の方に聞いたりして学習している。(3年) | ・地域に伝わる「鶏舞」の伝承活動に取り組んでいる。(4~6年) ・地域にある文化(高鞍窯や上ノ山麴店)について総合で学習している。(4年) |

| | | 地域の先人 | 地域の歴史 | 地域の伝統・文化 |
|----|--------|--|---|---|
| 18 | 大原小学校 | ・学校に寄贈され校舎内にたくさん掲示されている油絵を鑑賞し、描いた方（大原の方）の功績を調べる。（3年） | ・山吹城跡地に行き、大原の町を一望したり町探検をしたりする。（3年） ・伊達吉村について本やインターネット等で調べる。（6年） ・校歌の歌詞について調べ、伊達家との関わりを知り広げていく。（6年） | ・大原の祭り（水かけ祭り・達磨祭り）について調べ、地域の方から水かけ太鼓を教わる。学習発表会で発表し、水かけ祭りに参加。（5年） ・砂鉄取りと鉄作りをホッパの会の方に教わって体験。日本大学准教授から鉄作りの講話（6年） |
| 19 | 大東小学校 | ・「ことばの先人」出前講座で一関市博物館学芸員相馬美貴子先生のお話を聞き、大槻文彦、青柳文蔵、大槻玄沢の努力や功績を学んだ。一関市博物館に行き、先人の功績について調べる。（6年） ・芦東山記念館に行き、芦東山の功績について調べたり、学芸員の方に聞いたりする。（6年） | ・社会科副読本「わたしたちの一関」を活用し、地域の開発の歴史について学習している。（4年） | ・地域の伝統産業である養蚕農家を訪問し、話を聞いたり蚕を育てる体験活動を行った。（3年） |
| 20 | 興田小学校 | 6年生「地域の歴史を調べよう」で高野長英 芦東山 大槻盤溪 大槻文彦 藤原氏について調べ学習を行っている。 | 藤原氏(平泉)について事前学習をした後現地に行き見学学習を行う予定 | |
| 21 | 猿沢小学校 | | ・5、6年生が事前に平泉についてパソコンで調べ、校外学習で中尊寺、毛越寺、市博物館を実際に訪れた。見学した内容や説明を個人新聞にまとめ郷土の歴史について理解を深めた。 ・6年生が歴史の学習で地域の遺跡から出土した土器や石器を見せていただいた。 | 伊勢神楽の伝承活動を行っている。4年生以上の児童が保存会の方々に教えていただきながら、運動会や秋祭りで披露している。 |
| 22 | 千厩小学校 | | 青い目の人形「ベティちゃん」について学び、平和と国際理解教育の一つとして学習している。 | 「鬼剣舞」の伝承活動に取り組み、運動会、夏まつり等で発表している。特に今年度は4年生が校外学習で北上市の「鬼の館」を訪れ、その歴史について学習し、その成果を学習発表会で発表した。 |
| 23 | 小梨小学校 | | | ・小梨芸能保存会の方々のご指導のもと、総合的な学習の時間や地域での活動の時間を活用して、「うちばやし」の伝承活動をしている。活動の成果は、運動会や千厩夏祭り、小梨地区民祭、学校で行う引き継ぎ会などがあり、主に第4学年以上の児童が活動している。 |
| 24 | 清田小学校 | | 清田地域について調べ活動している。（清水馬場城、清田の地名） | ・伝統芸能として取り組んでいる田植え踊りについて由来などを調べ、まとめている。 ・学校にある児楽の森について調べ、地域の方の願いを知る活動。 ・多目的ホールにある大テーブルが、笠松の幹であることから、その意味を調べている。 |
| 25 | 奥玉小学校 | ・大槻文彦について出前講座などで学ぶことにより先人の功績や苦心について考える機会となった。 | ・6年生の地域学習「奥玉探検」で奥玉の歴史、伝説について学んだ。 | ・3年生の三沢地区でのスイートコーン植え・収穫、5年生の稲作活動で市民センターや地域の方の協力を得ながら地域の生産活動・文化・働く人々に目を向けて活動した。 |
| 26 | 磐清水小学校 | ・大槻文彦・芦東山などについて、11月以降総合的な学習の時間で、調べ学習を行う予定。（6学年） | ・磐清水地域の歴史について、地域探検やインタビュー、歴史学習会などを行い、分かったことを新聞や劇にまとめ、発信している。 ・地域の史跡や言い伝えをまとめた「磐清水の里の物語」を20数年前から毎年学習発表会で、全校劇を行っている。 | ・鶏舞を地域の方から指導をいただき、運動会や夏祭りで発表している。 ・「梅の里磐清水」として、地域の方々がやっている梅の収穫、選別の体験学習を行っている。また、「梅の里祭り」では合唱を披露したり、イベントを楽しんだりしている。 |
| 27 | 東山小学校 | ・総合的な学習の時間で「石と賢治のミュージアム」に行き、宮沢賢治について学習。（3年） ・「わたしたちの一関」で先人について学習。特に、大槻三賢人について学習。（4年） ・宮沢賢治について、生い立ち、作品等を資料で調べたり、「グスコブドリの伝記」を演じて賢治の世界を学習。（6年） | ・平泉について、外部講師を招いて学習（6年） ・工場見学を通して、地域の歴史について学習。（5年） | ・社会「受けつがれる行事」で、地域の3つの祭りについて、ゲストティーチャーを招き、学習。（6年） （武者装束等で祭りに参加） ・もち本膳体験で伝統食やしきたりの学習。（6年） |
| 28 | 室根東小学校 | ・菅江真澄について、全校朝会で紹介。 ・室根の和算家 西村実行について、全校朝会で紹介。 | ・6年生が総合的な学習の時間にふるさとの偉人・歴史について調べ学習を行っている。 | ・室根大祭について、地域の方に講師として来ていただいて学習し、わかったことを新聞にまとめた。 |
| 29 | 室根西小学校 | ・図書館のネットワークを利用して、地域の偉人等について個々に学んでいる。 | ・4年生は、社会科副読本「わたしたちの一関」を活用し、地域の開発の歴史について学習している。 | ・室根大祭について、地域の方を講師として招き講話形式で指導をして頂いた。また、運動会では、地域に伝わる太鼓を5・6年生が学び発表している。 |
| 30 | 川崎小学校 | 川崎地域については特になし。 | ・6年生が川崎地域の歴史（河崎の柵・蒸気船他）について、地域の方々にインタビューや本で調べたり、インターネットで調べたりしている。 ・5年生が総合的な学習の時間に過去に起きた川崎地域の水害やその水害と共存してきた人々の努力や工夫などについて調べている。 | ・4年生が総合的な学習の時間に地域の芸能「布佐神楽」について調べ学習を行い、5・6年生が布佐神楽を地域の方から指導いただき、運動会で発表している。 |
| 31 | 藤沢小学校 | ・3年生は、社会科副読本「わたしたちの一関」を活用し、生活で使う道具の変遷について調べた。 | ・4年生は、社会科副読本「わたしたちの一関」を活用し、地域の開発の歴史について学習した。 | ・6年生は、地域の人に依頼し、伝統芸能や地域の歴史・文化について学び、学習発表会で発表したり、校内展示で全校児童に知らせたりしている。 |
| 32 | 黄海小学校 | | ・6年生が黄海の歴史について講師から話を聞き、まとめとして地域に伝わる水害の伝説を学習発表会で発表した。 ・平泉学習を今後実施の予定。 | ・「鶏舞」の伝承活動に取り組み、運動会(4～6年)や郷土芸能発表会(6年)で発表している。 |
| 33 | 新沼小学校 | | 3年生が一関市博物館や、巖美市民センターを見学し、一関市の歴史について学習した。 | 神楽保存会の方の指導を受けて4～6年生が鶏舞を運動会で発表している。3学期には6年生が3年生に鶏舞を教え、2月末に引き継ぎ式を行っている。3年生はこの時に、神楽の歴史について学習する。 |

【第4回総合教育会議(H28.11.11開催)での概要】

○テーマ「一関市の先人や歴史・文化の理解促進について」で出された意見概要

- ・一関の先人として、素材は多い。
- ・先人の理解促進について、会議の中で、様々なヒントがあった。
- ・先人教育に高齢者等の協力を得て、地域社会で何かできないか。
- ・博物館、図書館、団体、個人連携による一関学などの研究センター、研究会の設立ができないか。
- ・郷土の先人研究をモデル的に実施する学校をつくれないうか。
- ・大人が子どもに教えられるようなアプローチの方法を工夫してはどうか
(地ビールまつりの際に大槻文彦とビールの関係を提供した例)
- ・全学校が参加し、発表できる場づくり、学校間での共同研究など

【博物館と学校との連携】

○一関市の先人や歴史・文化の理解促進のため、講師として博物館学芸員を各学校に派遣し出前講座を開催。

○事業名：ことばの先人出前講座(平成28年度事業)

| 回 | 日時 | 時間 | 会場 | 対象 | 人数 | 内容 |
|---|--------|-------------|-------|--------|-----|----------------|
| 1 | 8月31日 | 13:55~14:40 | 弥栄小学校 | 5、6年生 | 17名 | 大槻玄沢 |
| 2 | 9月6日 | 13:35~14:25 | 川崎中学校 | 中学2年A組 | 35名 | 大槻玄沢 |
| 3 | 9月9日 | 10:40~11:35 | 大東小学校 | 6年生 | 42名 | 大槻文彦、青柳文蔵、大槻玄沢 |
| 4 | 9月29日 | 9:25~10:10 | 舞川小学校 | 5、6年生 | 34名 | 大槻文彦 |
| 5 | 10月4日 | 14:35~15:25 | 桜町中学校 | 中学1年 | 96名 | 青柳文蔵、大槻玄沢 |
| 6 | 10月26日 | 14:35~15:20 | 花泉小学校 | 5年生 | 23名 | 大槻文彦 |
| 7 | 11月4日 | 11:45~12:35 | 東山中学校 | 中学1年 | 65名 | 大槻玄沢 |
| 8 | 11月25日 | 9:10~10:25 | 萩荘小学校 | 6年生 | 68名 | 大槻文彦 |
| 9 | 12月21日 | 10:40~11:25 | 滝沢小学校 | 5、6年生 | 51名 | 大槻玄沢 |

【小学校の”ことばの時間”での取り組み】

平成29年度 実践指定校における試行

⇒ 中里小学校 南小学校 油島小学校 大原小学校 千厩小学校 新沼小学校

計6校での試行により、成果や課題を確認します。時程上の設定位置、テキストの検討などを経て、全小学校での実践につなげます。

毎日、10分間の「ことばの時間」を位置付けます

| | |
|---------------|-----------------------|
| 1分程度 | 9分程度 |
| 挨拶 姿勢づくりなど | ことばのテキスト『言海』を活用した音読活動 |

・時程上は、いわゆる帯時間の設定とします。どこに設定するかは、各学校の創意工夫となります。例えば、朝活動の時間や5校時の前など、全学級が一斉に取り組めるようにします。

ことばのテキスト『言海』を、児童一人ひとりに配付し活用します

低学年用・中学年用・高学年用の3分冊とします。受け継がれてきた名文や古典を中心に、春夏秋冬で構成します。



＜低学年の内容＞

- ・ことばのひびきを感じよう【春】：「ちようちよう」、「春がきた」、俳句、短歌
- ・ことばであそぼう：「ずいずいずっころばし」、回文、「ねこと ぼった」
- ・リズムであそぼう：「かぞえうた」、「あいうえ おにのうた」
- ・昔話を楽しもう：「ももたろう」
- ・漢詩を楽しもう：「春暁」 など

一関市にゆかりのある人物について、取り上げます

◎8人の先人について、中学年用テキスト・高学年用テキストに挿入
大槻玄沢、大槻文彦、建部清庵、千葉胤秀、芦東山、青柳文蔵、宮沢賢治、松尾芭蕉

地域の先人に関わる取り組み例 ～宮沢賢治(東山地域)～

「まづもろともに」特設70年記念式典と記念事業をPRする石と賢治のミュージアム展覧

来月4日に記念行事
谷川俊太郎さんから参加

賢治とともに
詩と音楽の世界へ 入場無料

2017.6.4(日)
東山地域交流センター
開場 14:00

《記念式典》14:20-14:50
《記念事業》15:00-16:30

第一部 谷川賢作と子どもたちのコンサート
第二部 俊太郎の朗読と賢作のピアノによるコンサート



例

ことばのテキスト『言海』 高学年より

祖父との約束

芦東山の生まれた元禄時代は、江戸の華やかな町人文化とは対照的に、東北の農民の生活は決して豊かなものではありませんでした。数年おきに襲ってくる冷害(不作、手のほどこしよりも命を失う多数の病人。浪民村の肝入職であった東山の祖父白柴は、これらを救わなければ農村の真の平和はないと考え、幼いころから利発であった東山に、農民救済の願いをかけていました。

東山十五歳の夏、東山は仙台の星久四郎のもとに旅立ちました。その後、東山の才能はまたたく間に仙台藩の学者たちに知れわたります。その年の暮れには仙台藩の代表的な儒学者の弟子になりました。やがて十九歳のときには武士となり、伊達政宗から五代目となる藩主伊達吉村に御前講義し、ほうびを頂戴するなど、大変な出世ぶりでした。

しかし、白柴は東山の立身出世を喜んではいませんでした。仙台や京都で偉い儒学者になるよりも、葉草の勉強や冷害の年に食べられる山野草について勉強して故郷に帰り、苦しい生活を強いられる農家の指導にあたって欲しいと思っていたからです。

東山は、仙台藩の学問所で授業をするなど、儒学者として大変活躍していましたが、四十三歳の六月、突然評定所(裁判所)から処罰が言い渡され、幽閉されることになりました。その理由は、新しくできた仙台藩の学校の、学生の席順に意見を述べて問題となったからです。その後、東山は二十年以



芦東山先生肖像画

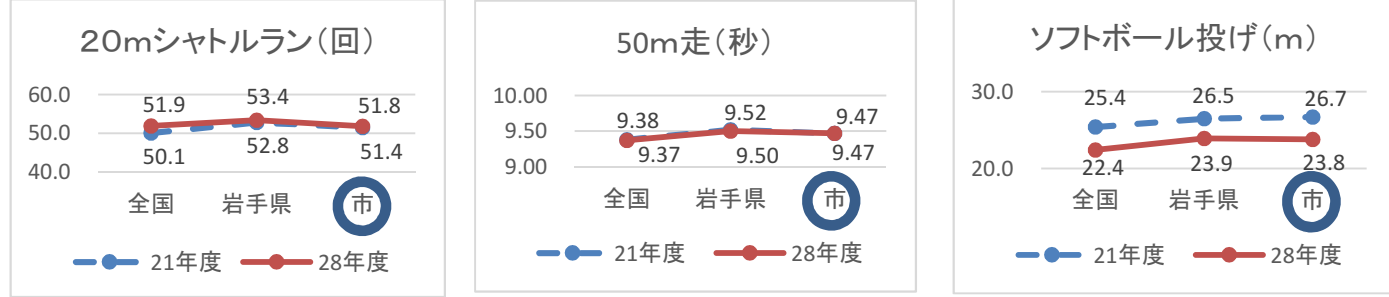
芦東山

先人について知ろう
刑罰思想の先駆け「無刑録」の執筆者

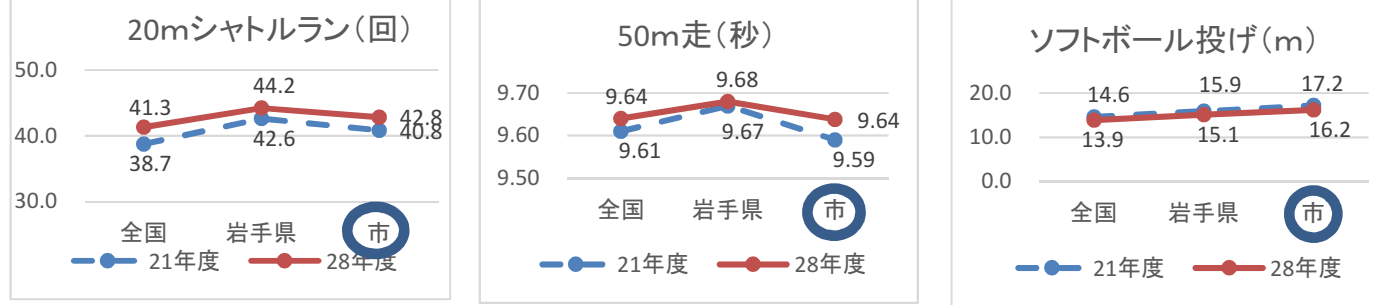
芦東山は「無刑録」という刑法思想を書きました。東山が「無刑録」を書いた理由は、「無刑」という言葉に込められた願いや思いについて考えてみました。

【体カテストの比較 ※H21-H28】

1 小学5年生の平均値
(1)男子

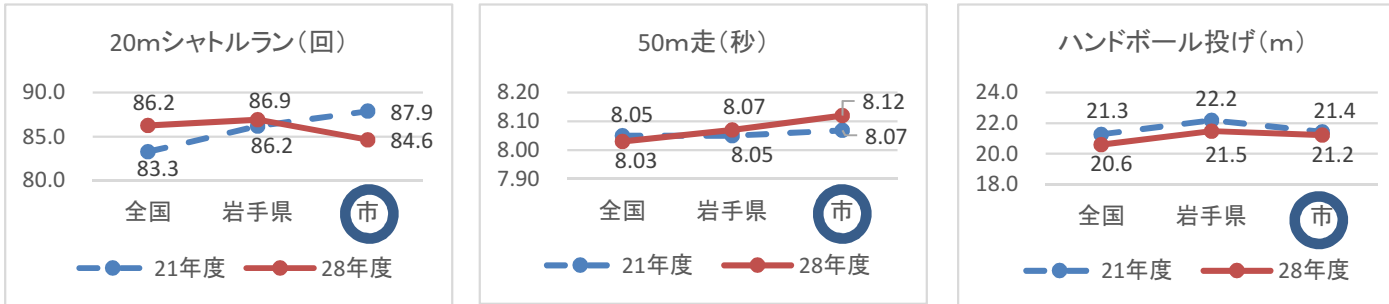


(2)女子

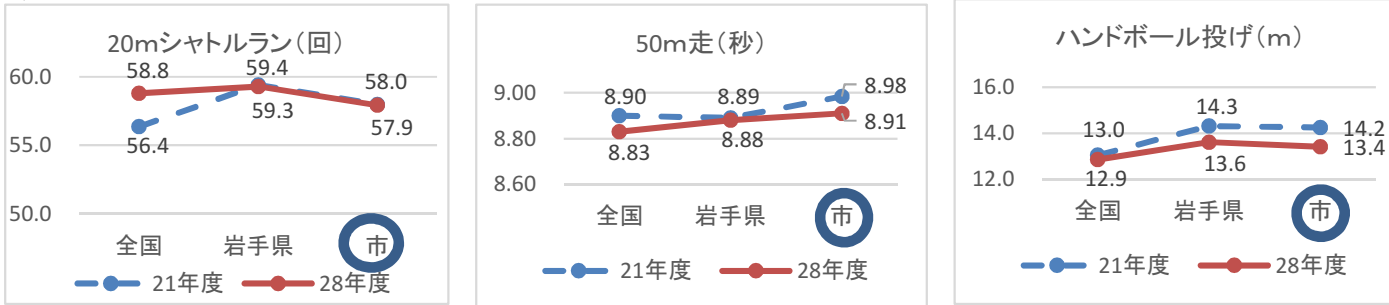


2 中学2年生の平均値

(1)男子



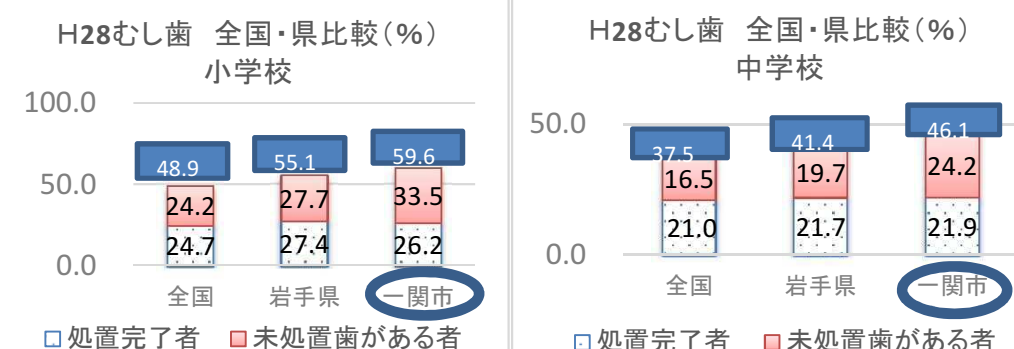
(2)女子



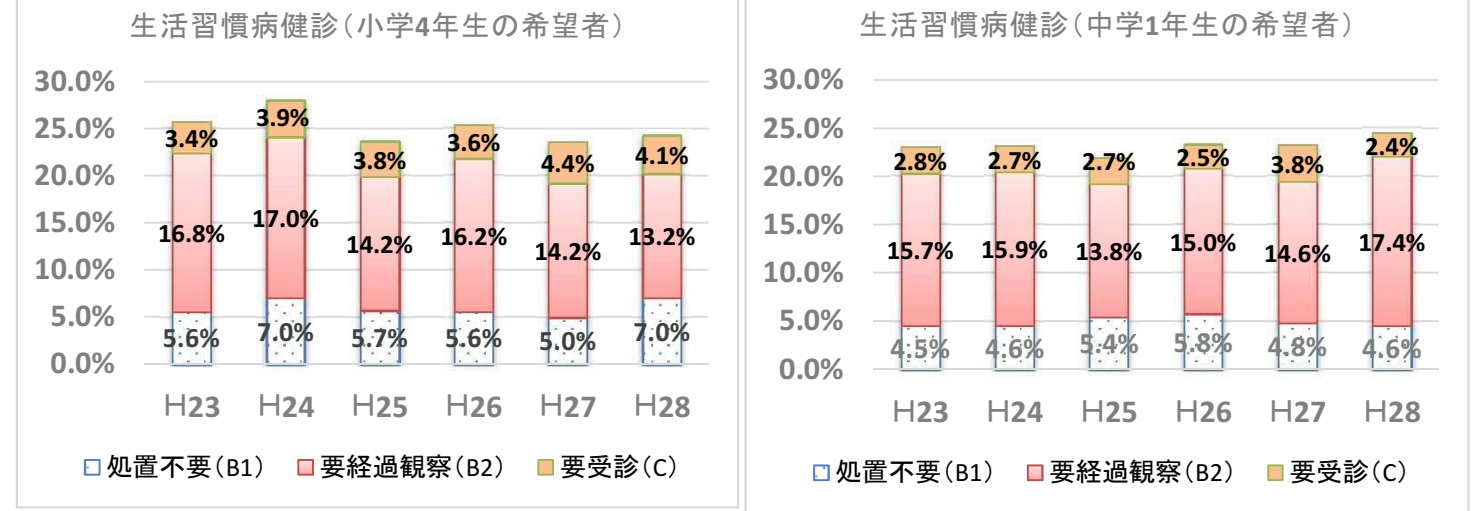
3 各学校の体カづくりの取組み

岩手県教育委員会が掲げる「元気・体力アップ60運動」(あそびやスポーツ、通学などを合わせて1日60分以上運動することにより、運動習慣を身に付ける)を各校の状況によって、取り組んでいる。
例) 業間や朝のマラソン、通学時の徒歩の推奨、スクールバス等通学者の降車場所を離れた場所に指定して歩く時間を確保、など。

【むし歯 全国・県比較】



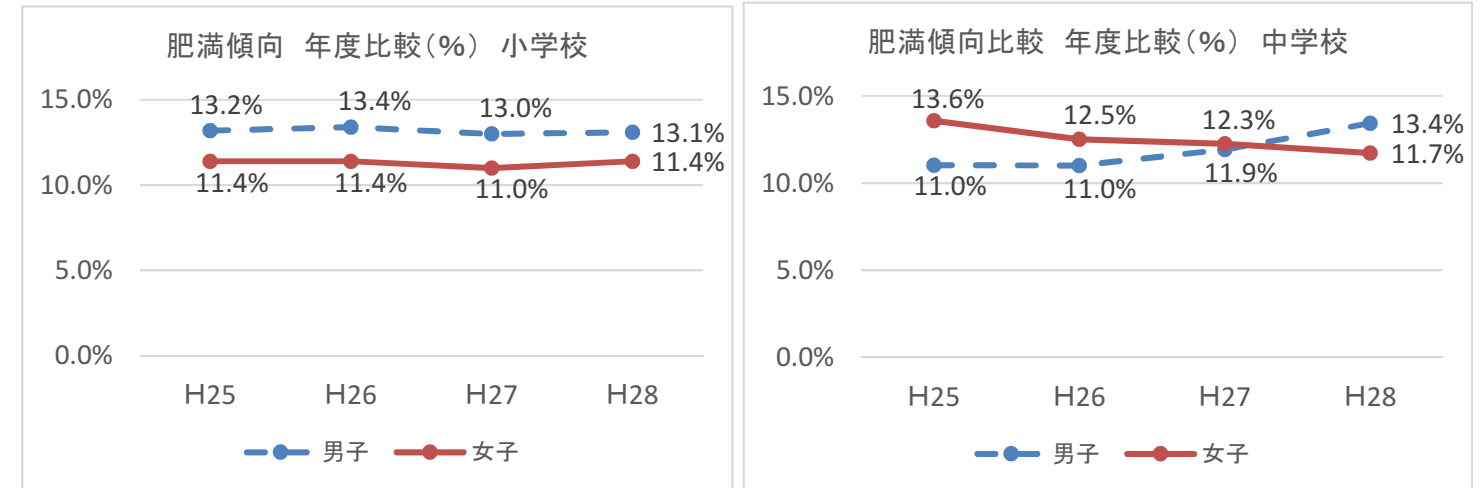
【生活習慣病健診の結果 ※H23~H28】



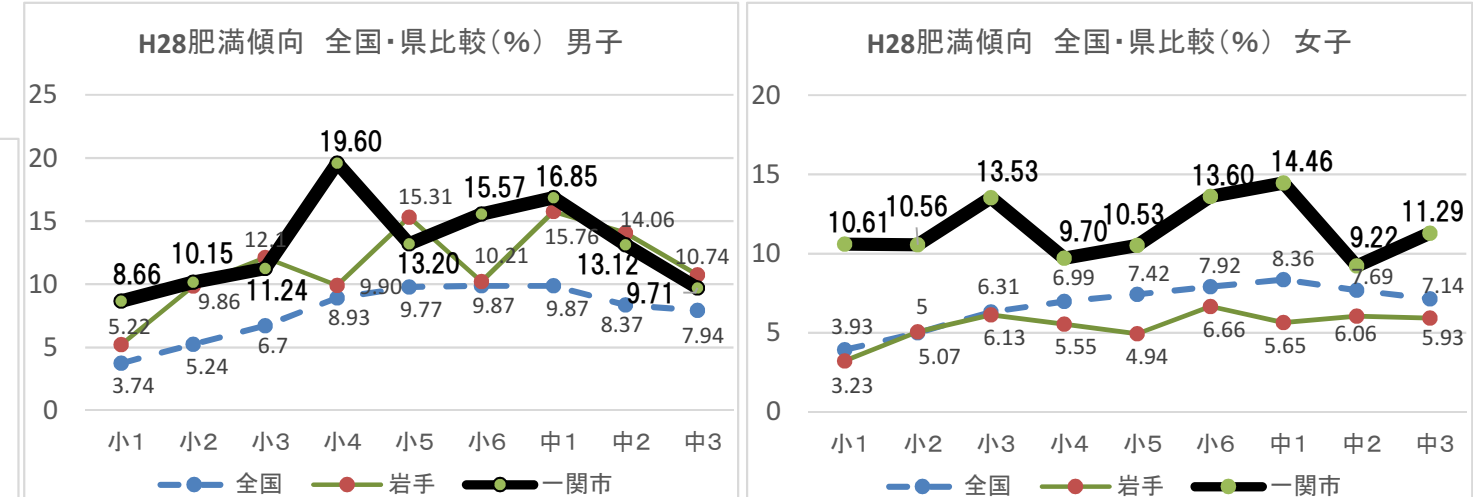
※生活習慣病健診・・・小学4年生及び中学1年生の希望者を対象に実施。
○肥満度及び血液検査によるコレステロール値、血糖値、肝機能数値等で所見が見られるものを、次のとおり区分する。
・処置不要(B1) : 所見は見られるが、特に処置の必要はないもの
・要経過観察(B2) : 食事・運動の生活指導を受け、経過観察が必要なもの
・要受診(C) : 精密検査または治療が必要なもの

【肥満傾向比較】

1 肥満傾向 年度比較 ※H25~H28



2 肥満傾向 全国・県比較



【食育に係る取組み】

一関市学校給食・食に関する指導の取り組み

*は28年度実績

| 給食を活用した指導 | |
|---|---|
| ○給食時間に担任、栄養教諭等による指導 <指導内容> 配膳の仕方、食べ物の働き、栄養バランス、マナー、食材の産地、給食の歴史等 | |
| ○給食時間の放送資料を提供 | |
| ○生産者や調理員との交流給食 小学校 18校 中学校 9校 | |
| ○残食調査の実施…全小中学校残食量の把握と指導方法を共有 小学校 提供量の5%(34.6g) 中学校 提供量の8%(66.5g) | |
| 主な行事食 | 給食で使用している一関市産食材 |
| 地場産給食の日、もち給食、郷土料理(果報だんご、はっとう等)、リクエスト給食、バイキング給食、セレクト給食、とり肉の日、いわて牛の日、鮭の日、和食給食、昭和時代の給食、他県の郷土料理、世界の料理、行事食(七夕、お月見、クリスマス、桃の節句)等 | 米、牛乳、豚肉、鶏肉、大豆、玉ねぎ、キャベツ、大根、じゃが芋、曲りねぎ、きゅうり、人参、りんご、味噌、なたね油等。 給食用冷凍・加工食品→米めん、トマトピューレ、カットトマト、南部一郎かぼちゃを使用したコロツケ、プリン。 使用割合 59% (米、牛乳は100%) |
| *学校との計画や地域の特色により、給食センター毎に違いあり。 | |

| 教科等での指導 |
|---|
| 各学校の食育計画により、学級活動、家庭、国語、保健体育等で栄養教諭等と連携した指導。 <主な指導内容> 小学校…成長期と食事、朝食の役割、おやつとり方、噛むことの良さ、カルシウムの働き 中学校…生活習慣病予防、朝食の大切さ、受験期の食事、スポーツ栄養、お弁当作り、魚の調理 <H28年度重点> 小学校でのTT授業 29/33校 中学校での食育と関連した授業 17/17校 <H29年度重点> ・「食と生活習慣病」に関するTT授業の実施(対象:小6) ・栄養教諭等とのTT授業の実施(対象:小中高学年、中学校全学年) |
| 家庭・地域への情報発信 |
| ○食育通信、給食献立表、給食だより、食育だより発行。 ○市ホームページに、献立表や給食に関する情報を掲載。 ○保護者対象の給食試食会と講話。 950名参加 ○市民対象の給食試食会 15回開催 144名参加 ○給食センターまつり(西部・花泉給食センター) 282名参加 |

【第3次一関市食育推進計画】 計画期間:平成29年度～平成33年度

・・・健全な食生活を実践し、心身の健康保持及び増進と豊かな人間性を育むことを目指す。
この計画の「第6章 計画の推進」で次の目標値を設定している。

3 評価指標と目標値の設定

第3次一関市食育推進計画の推進にあたり、以下に示す評価指標と目標値を設定し目標の達成を目指します。

<望ましい食生活の形成と定着>

| 評価指標 | 対象 | 現状値 | 目標値(H33) | 基準評価資料 |
|-----------------------------------|----------------|----------------|------------|--|
| 朝食を毎日食べている市民の割合 | 3歳 | 96.7% | 100% | がん等疾病予防支援システム " " " 健康づくりアンケート " " |
| | 小学生 | 95.1% | 100% | |
| | 中学生 | 93.3% | 100% | |
| | 高校生 | 85.4% | 90% | |
| | 成人 | 86.1% | 90% | |
| | 男性20歳代 30歳代 | 54.1% 56.6% | 65% 65% | |
| 主食・主菜・副菜を毎食そろえた食事をする市民の割合 | 中高生 | 35.3% | 45% | 食育アンケート " " " " |
| | 成人 | 43.6% | 53% | |
| | 男性20歳代 30歳代 | 23.5% 23.8% | 33% 33% | |
| | 女性20歳代 | 29.4% | 40% | |
| 家族や友人などと会話を楽しみながら毎日ゆっくり食事をする市民の割合 | 中高生 | 52.9% | 63% | 健康づくりアンケート 食育アンケート |
| | 成人 | 50.5% | 60% | |
| 薄味にしている市民の割合 | 成人 | 25.8% | 50% | 健康づくりアンケート |

<食べ物を大切にする心の醸成、食文化の継承、食の安全と循環や環境への理解の促進>

| 評価指標 | 対象 | 現状値 | 目標値 | 基準評価資料 |
|--------------------------------|-----------|-------|-----|----------------------|
| 料理を作っている市民の割合(ほぼ毎日またはたまに作っている) | 中高生 | 60.8% | 70% | 健康づくりアンケート " " |
| | 成人 | 72.1% | 82% | |
| | 男性20～70歳代 | 44.6% | 55% | |

<食育を推進する関係者の連携強化>

| 評価指標 | 対象 | 現状値 | 目標値 | 基準評価資料 |
|---------------|-----|-------|-----|-----------------|
| 食育に関心がある市民の割合 | 中高生 | 73.2% | 90% | 健康づくりアンケート " |
| | 成人 | 74.1% | 90% | |